

平成 23 年度 シラバス	学年・期間・区分	1年次・後期・選択	
	対象学科・専攻	土木工学専攻	
都市計画特論 (Advanced City Planning)	担当教員	内田 一平 (Uchida, Ippei)	
	教員室	都市環境デザイン工学科棟2階 (Tel. 42-9117)	
	E-Mail	uchida@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態 / 単位数	講義 / 2単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分) + 自学自習 (200 分)] × 15 回		
[本科目の目標] 現代・日本における都市計画の基本課題のいくつかについて「理論」と「実態」との関係をフィードバックし諸外国と比較しつつ考察を深めることを目的とする。特に都市計画の「対象領域」と「計画行為」に関する認識に重点をおく。			
[本科目の位置付け] 本科 4 年生開講の都市計画の知識をもとに都市問題と都市計画マスタープランおよび都市総合計画に主眼をおいて、より詳細な内容に関して講義を行うのが本科目である。また、本科目の内容を基礎として、専攻科 2 年次前期の都市計画演習において「都市計画マスタープラン策定」演習につながる。			
[学習上の留意点] 授業時配布プリントは、その日の理解すべき主な内容の要約を示す。テレビや新聞などの具体的な記事を授業中に紹介するが、皆さんも日々上記メディアを通じて情報を入手しておくこと。また、講義内容をよく理解するために、毎回、予習や演習問題等の課題を含む復習として、200 分以上の自学自習が必要である。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目 標	予習の内容
1. 序論(イントロダクション)	1	講義目標と予定内容・講義要領を理解する。	次週講義内容のプリントを講義終了時に配布する。各自、教科書該当部分および図書館の書物を参考に予習を行うこと。
2. 都市問題	1	過去に起こった都市問題を把握し、それに対して都市計画が対応した状況を認識する。	
3. 住宅問題のメカニズム	4	住宅・住環境に関する都市問題を理解し、説明ができる 上記問題に対する都市計画関連の対応状況を理解し、問題解決の素養を養う。	
4. 交通問題のメカニズム	4 4	交通渋滞などの交通問題を理解し、説明ができる。 上記問題に対する都市計画関連の対応状況を理解し、問題解決の素養を養う。	
5. 公害・災害のメカニズム	4	公害・災害・自然環境破壊の問題を理解し、説明ができる。 上記問題に対する都市計画関連の対応状況を理解し、問題解決の素養を養う。	
6. 実在都市における問題の観察	2	人口 50 万人を有する地方都市 鹿児島市を散策し、実際に起きている都市問題を認識する。	
7. 都市計画体系	4	都市計画法関連の法制度の関連性を理解する。 法定都市計画・都市計画マスタープラン・都市総合計画の関係を理解し、説明できる。	
8. 計画構造とプロセス	4	計画行為構造と計画プロセスを理解し、概略を説明できる。 計画プロセスにおける計画書行為の特性と限界性を理解し、説明できる。 計画における意志決定プロセスを理解する。	
9. 都市計画マスタープラン	4	住民参加の必要性を理解し、計画策定までの住民参加状況を説明できる。 都市計画マスタープランの目的・機能を理解し、説明できる。 計画書の主要構成を理解し、次年度演習課題達成の素養を養う。	
---定期試験--- 試験答案の返却・解説	2	授業項目 2～9 について達成度を確認する。 試験において間違った部分を理解できる。	

